

増田俊男の『愉快な暴言』2025年12月11日国会議員号

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] t_masuda2019/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] t_masuda2019/



時事評論家 増田俊男

習近平に一杯食わせた高市早苗

高市の台湾有事発言は高市が予定した意図的発言であったことは自明である。

日中関係を犠牲にしてまで敢行した高市の狙いは何か。

国家にとって死活問題は安全保障である。

安倍元首相の遺産を引き継いだ高市の使命は日本の「自主防衛」である。

安部の遺産は菅、岸田、そして石破を除いて高市に継がれた。

安部の遺産とは安保三文書改訂に拠る自衛隊の軍隊化である。

防衛指針は守りから攻め、防衛戦略は米軍・自衛隊役割分担（矛と盾）から日米共同作戦、共同指揮権、そして2027年までに自衛が先制攻撃能力を待つ為に必要な装備と必要予算、GDP比1%から2%、必要装備43兆円である。

高市は予算化を2025年に前倒ししようとしている。

従来の防衛指針、戦略、装備と予算から見れば大挑戦である。

従来と変わらない「外部環境」のままで、この異常な挑戦は可能だろうか。

2022年12月16日岸田内閣が三文書改訂を閣議決定しようとした際、公明党が専守防衛堅持の立場から難色を示したが、閣議の一週間前から急に北朝鮮が連日日本海に向けてミサイルを発射してきたことから公明党は賛成せざるを得なくなった。

歴史的三文書改訂を急ぐ為には、国民の前に仮想敵国中国の軍事脅威を露わに見せつける必要がある。

日中戦争をシュミレーションすれば日本の核武装の必要性も出てくる。

高市にとって、十分あり得る自衛隊と人民解放軍の偶発的衝突は望むところだろう。

今のところの中国の対日軍事エスカレーションは高市の望むところである。

「自衛隊の軍隊化だ、子供を戦場に送ってはならない」などという中国の対日プロパガンダが横行している中で、「三文書改訂を急げ」と国民が叫ぶようになるには中国の軍事的暴挙が必要である。

王毅外務部長が対日最期通告文を口にしたのだから上出来！

田中角栄、中曽根康弘、小泉純一郎、安倍晋三など日本には政治家資質を兼ね備えた首相がいたが、「習近平にいっぱい食わせた高市」は抜群ではないのか。

「鉄の女高市早苗か」？！

※増田俊男の小冊子 Vol.154 先行受付中！お申込みは、<https://www.musrjec.com/>

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏（真実）★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。